

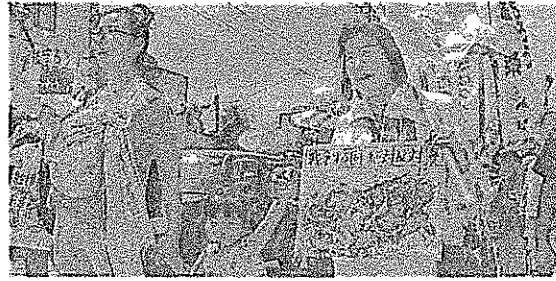
7/25 旗

戦争法案止めたい

13団体共催 青森で集会

青森市で24日昼、戦争法案廃案と安倍内閣退陣を求める「戦争法案NO！青森集会」とデモが行われ、200人余が参加しました。県九条の会、憲法ネットあおもり、県保険医協会、日本共産党、民主党など13団体の共催。門倉昇・県九条の会共同代表が「強行採決への怒りは渦を巻き広がっている。安倍政権

を包囲し、必ず廃案に追い込もう」と呼びかけました。26日に青森市で開かれる青年デモへの参加も呼びかけられました。



「憲法守れ」「戦争させない」と声をあげ、デモ行進する親子。24日、青森市内

沖縄で女性 署名を訴え

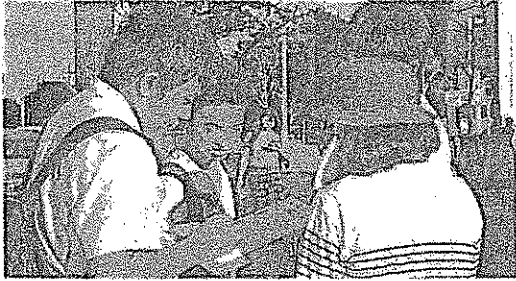
沿道からデモ行進参加者に手を振っていた81歳の女性は、「戦争に参加することを目指す安倍さんを止めない自民党や政府、政治家も許しません。戦争で犠牲になるのは国民です。絶対に止めたい」と話しました。

日本共産党の諏訪益一県議、館田のみ子市議が参加しました。

「戦争法案を許さない女性レッドアクション沖繩」は24日、那覇市で「史上最悪の違憲立法を廃案にしましよ」とマイクで訴え、廃案を求める署名宣伝を行いました。

「いまの自民党政権はとんでもない。安倍首相は一日も早く退陣してほしいね」と署名に応じた中村恒彦さん(55)は那覇市。辺野

戦争法案の廃案を求める署名に応じる高校生。24日、那覇市



古の新基地建設と法案は結び付いているでしょう。孫もいるので戦争になったらと思うと不安だ」と言います。「この法案を絶対に認めるわけにはいかない」と署名した根間康

成さん(45)は浦添市。日本が攻められてもいけないのに米国の要求に付き従わないといけないんじゃないか。自衛隊員がほとんどん辞めていけば徴兵制だってあり得る。10年、20年後の日本の将来のためにも反対だ」と話しました。

北海道から旅行で来た草加部政則さん(63)は札幌市。沖繩はベトナム戦争のときから米軍の出撃拠点にされていると聞いた。沖繩の現状に少しでも触れて、地元に戻ったら新基地や戦争法案反対の声を広げていきたい」と話していました。